

「全麵協通信 1号」を発行しました！

はじめに

コロナ禍の中で、全麵協会員・個人会員は直接会っての「情報交換」が出来にくい状況です。特に「そば道段位認定」の開催やその受験を予定していた会員にとって、本部の動向や段位認定会の開催方針が分からずに、不安を感じている方が多いと思います。本部と支部の広報渉外担当者は、今年の上月中旬から「テレビ会議」で打ち合わせを行って支部の状況などを話し合いました。そして、広報渉外部はこの時にこそ、会員の「目と耳」の役割を担って広報に努め、会員が感じている不安払拭に努めることを決めました。

広報手段の検討

広報渉外部が全麵協会員・個人会員に広報できる手段は「ホームページ」と「全麵協広報」の2つがあります。

①ホームページ

速報性がある、全麵協会員・個人会員の多くが閲覧して情報を得ている。

全麵協本部はコロナ禍の中ホームページで告知できるような事業が実施できない状況に置かれている。「第7回通常社員総会」が、委任状を受けて開催準備を進めているが、今は掲載できる状況にはない。

②全麵協広報

毎年2回発行し、会費を納めている全麵協個人会員、特別個人会員に郵送で届けている。12ページの紙面があり、美しくデザインされていて、写真や図表が整理されていて保存性や記録性に優れている。しかし、記事の準備を始めてから校正、印刷、郵送までに2ヶ月程の期間を要するので、速報性には欠けてしまう。

「全麵協通信」の発案

6月21日(日)午後2時から「第7回通常社員総会」が開催され、コロナ禍の中で感染拡大を防ぐためにも受験者が広域に及ぶ「全国認定会(四・五段位)」は開催できないことが告げられました。これに伴って、事業収入が減少することの説明がありました。

『費用を掛けずに、速報性があり確実に全麵協会員・個人会員に情報を届ける方法は無いだろうか?』と、本部・支部広報渉外担当者が発案したのが「全麵協通信」です!

「全麵協通信」はA4版の新聞で、片面または両面で構成されています。原則として月に1回発行し、伝えるべき情報が多い時は複数回発行します。配信方法は本部から支部へとメール送信します。支部は支部管内の全麵協会員に「メールまたは郵送」し、受けた全麵協会員(団体)は所属する個人会員にメール送信、またはプリントアウトして渡すなど、一人一人に確実に届くように配布の協力を仰ぐこととします。

「全麵協通信」はコロナ禍の期間中における、緊急的な情報伝達ツールと考えています。さらに、全麵協ホームページにも掲載して、ダウンロードできるようにします。

(執筆者:広報渉外部・谷端)

全麵協本部では、「with コロナ」に対応するための活動準備を着々と進めています。今後もその取り組みを「ホームページ」「全麵協通信」を通して皆様にお伝えします!

